教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

１　岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成２２年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第１学年から第６学年で「英語活動」を実施してきました。

平成３１年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第５、第６学年で外国語科の授業時間数が週２時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第１学年から第４学年までに変更しました。

２　岡崎市における小学校第１学年から第４学年での取組

現在岡崎市では、小学校第１学年から第４学年において「英語活動」の授業を行っています。

第１学年と第２学年では、「生活科」の時間を３５（第１学年は３４）時間を「英語活動」に充てています。小学校第３学年と第４学年では、「総合的な学習の時間」３５時間を「英語活動」に充てています。

【資料１】岡崎市の教育課程（基本案）

区分	各教科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動＋英語活動	総授業時数
学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第１学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第２学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第３学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第４学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第５学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第６学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日１０分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作ＤＶＤ『OK English(約８分のＤＶＤ)』を視聴することで、週１コマの授業時間としています。ＤＶＤの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにＤＶＤを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料２】OK English

３　本校の取組

藤川小学校では、３・４年生は週１時間の外国語活動に加えて、１・２年生は英語活動として、岡崎市のＤＶＤ教材視聴等を週１時間分、実施しています。毎日１２時１０分から１２時２０分を「英語活動」の時間として位置付けています。児童は、『OK English』の DVD を視聴して、チャンツなどの発音練習を繰り返したり、歌や踊りを楽しんだりして、英語に親しむことができています。具体的な場を設定して会話の練習に取り組んでいるので、子供たちは、登場人物になりきって会話を楽しんでいます。

◎指導の基本方針と全体計画

言語や文化について体験的に理解を深め、言葉の大切さや豊かさに気づかせること、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、楽しさを味わわせることを指導の基本方針としています。

＜全体計画＞

・１～４年は、毎日１０分間を英語タイムとし、英語の DVD の視聴を週５回実施します。
・具体的な場面を想定して日常会話に触れ、５・６年の外国語科の学習につなげることを目指します。

◎学年別の指導の重点

１年：英語の音声に親しみ、あいさつ等の簡単な英語表現を聞きとる力を伸ばします。
２年：英語の音声に慣れ、あいさつ等の簡単な英語表現を身に付けます。
３年：積極的にコミュニケーションを図る活動を計画的に取り入れ、外国語活動への意欲の喚起をはかり、英語の基礎的な音声やリズム等に慣れ親しみます。
４年：外国への興味・関心や英語学習への意欲の喚起をはかり、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気づくようにします。